

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (尾道市立美木中学校)

- ① 教科等 美術科 ② 学年 第2学年
- ③ 題材名 「協力し合って、模写をしよう」～仲間との交流を通して～
- ④ 本時の目標
 - 作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や表現の工夫を感じ取り言葉で表現する。
 - 他者の言葉から、自分のイメージをふくらませ意欲的に名画を模写する。
- ⑤ 学習の流れ (1時間目/全1時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 前回の鑑賞のポイントを思い出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・素直な感動を大切にさせる。 ・色・形・構図・心情等のキーワードを思い出させ、造形要素に注目して言葉で表現させる。 ・画一的な見方に陥らないようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や表現の工夫を感じ取り言葉で表現することができる。 〔鑑賞の能力〕 (ワークシート) ・言語情報をもとにイメージを広げ模写を意欲的にすることができる。 〔美術への関心・意欲・態度〕 (ワークシート)
2 本時のねらいを確認する。 言葉を聞いて模写をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・班で協力すること、お互いの言葉に耳を傾けしっかりと聞くことを確認する。 	
3 班ごとにナビゲーターを1人、プレイヤーを3人又は4人決める。班のリーダーはアートカードとワークシートをそれぞれ配る。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> (ナビゲーター) 相手に絵の内容 (特徴や印象) を説明する </div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> (プレイヤー) 相手の説明をもとに、カードを見ないで絵の模写をする </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーターにはアートカードを配り、その特徴や印象を相手に説明するように、プレイヤーには、相手の説明をもとに名画の模写をするように指示する。 <p>〔言語化のポイント〕 (分析、記録、要約、説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇図形か何かの形に見立てる。 ◇線の方向を表す。 ◇タッチや線の強弱 ◇色合い 	
4 班の中でそれぞれがイメージして描いた作品を交流し、一番イメージに近い模写を前の黒板に貼る。	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をしながら、よく表現されているところを評価する。困っている生徒には、単純な形でイメージをふくらませるように指導する。 ・お互いの意見を尊重し、意見をしっかりと聞かせる。 ・ナビゲーターは作品を見せないことを確認する。 	
5 ナビゲーターは、自分のアートカードを見せ、思いがうまく伝わった模写作品を紹介し、交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・思いがよく伝わったところ。模写のよく表現できているところを発表させる。 	
6 本時の学習を振り返り、ワークシートにまとめを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを確認し、ねらいが達成できたか自己評価をさせる。 	
7 次時の学習を知る。		

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や表現の工夫を感じ取り言葉で表現することができる。
- 言語情報 (言葉) もとに、自分のイメージをふくらませ絵を描くことができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- ナビゲーター (情報の発信役) とプレイヤー (情報の受信役) を設定する。
- 〔言語化のポイント〕を設定し、相手に分かりやすく説明することを意識させる。